

レジメン番号	0403	レジメン名	(R-) CNOP-21
登録診療科	血液内科	使用薬剤	リツキサン/リツキシマブ BS、エンドキサン、ノバントロン、オンコビン、プレドニゾロン
がん腫	悪性リンパ腫	インターバル日数	21 日

【投与量・投与スケジュール】

薬品名 投与量/体表面積	投与方法	患者投与量	Day-1 (/)	0 (/)	1 (/)	…21	Day1 (/)
リツキサン/リツキシマブ BS 375 mg/m ²	点滴	mg	↓			コース day20 or day21 に投与	
エンドキサン(CPA) 750mg/m ²	点滴	mg			↓	3 週間を 1 コース	↓
ノバントロン(MIT) 10mg/m ²	点滴	mg			↓		↓
オンコビン(VCR) 1.4mg/m ² (最大 2mg/body)	静注	mg			↓		↓
プレドニゾロン(PSL) 100mg/body または 50mg/m ²	経口	mg			D1~5		D1~5

(支持療法)

※1 Day-1 経口剤あり

A) パロノセトロン (0.75mg) B) グラニセトロン (1mg)	点滴	○ を mg			↑	3 週間を 1 コース	↑
---	----	-----------	--	--	---	----------------	---

【当日の投与方法】

薬品名	規格	希釈液/量	投与速度/方法
① リツキサン/リツキシマブ BS	100mg	生食	※2 下記参照/輸注ポンプ
	500mg	初回：1mg/mL に希釈 2 回目～：1~4mg/ml に希釈	
② エンドキサン	100mg	KN3 号 500ml	120 分/点滴
	500mg		
③ ノバントロン	10mg	生食 250ml	60 分/点滴
④ オンコビン	1mg	生食 20ml	静注/緩徐
⑤	パロノセトロン	生食 100ml	15 分/点滴
	または グラニセトロン		

【day-1】

投与間隔≫ ※3 (メインルート/持続)

投与順番≫ ⑧ → ① → 終了

【day1】

投与間隔≫ ※3 (メインルート/持続) (側管 15 分) (側管緩徐) (側管 60 分) (側管 120 分)

投与順番≫ ⑦ → ⑤ → ④ → ③ → ② → 終了

【備考】

※1 リツキサン/リツキシマブ BS 投与前、解熱鎮痛剤及び抗ヒスタミン剤の予防投与を行う

※2 初回投与時、最初の 30 分は 50mg/h で開始し、患者の状態を十分観察しながら、

注入速度を 30 分毎に 50mg/h ずつ上げて、最大 400mg/h まで速度を上げることができる。

2 回目以降の投与速度は下記のいずれかを選択可能 (リツキシマブ BS は(2)を選択不可)

(1)初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/h で開始し、その後 30 分毎に 100mg/h ずつ上げて、

最大 400mg/h まで上げることができる。(1mg/ml に希釈しているときのみ選択可能)

(2)臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に発現した副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が

5,000/μL 未満である場合、90 分で投与 (最初の 30 分：投与量の 20%、その後 60 分：投与量の 80%)

※3 ⑦メインルート：KN3 号 500mL+メイロン 20mL(2A) ⑧メインルート：5%ブドウ糖 500 mL